

2011/11/25

慶應義塾大学メディアセンター 入江伸

国立大学図書館協会シンポジウム 報告レジメ

1. Google Library Project 報告
 - (ア) Google Books 参加の意義
 - (イ) 具体的な作業について
 - (ウ) 著作権処理について
 - (エ) 構築したシステム
 - (オ) スキャニング
 - (カ) Google BOOKS の状況

2. Google Library Project での課題と展開 教訓
 - (ア) 課題と展開
 - (イ) 技術的な課題
 - (ウ) 国際化への課題

3. リポジトリ活動 Google Library Project からの展開としてのシンポジウム
 - (ア) 20080312 大学出版会と大学図書館との連携
新しい学術情報流通の可能性を探る
 - (イ) 電子書籍・資料のいま 日本と中国

4. 電子学術書利用実験プロジェクトの報告
 - (ア) プロジェクト開始の発想と目的
 - (イ) 多様な連携・協力 対話の必要性
 - (ウ) プロジェクトの概要
 - (エ) プロジェクト推進体制
 - (オ) プロジェクトシステムの説明とデモ
 - (カ) 学生の反応 出版社と学生の対話
 - ① 学生が望む環境とは何なのか
 - ② 紙と電子をどのように使い分けているか
 - (キ) 課題と展望